「2024 年度 体育系修士研究論文集原稿」提出時の確認書

学籍番号

体育学学位プログラム・体育学専攻研究促進委員会委員長 殿

	氏名(記名)
私は、論	文集原稿の作成に際し、作成要領に従って作成したことを確認いたします。
	てのチェックボックスにチェック(☑)を入れてください。 体育学学位 P(専攻)WEB site からひな形をダウンロードして作成しました。
	A4版3枚以上4枚以内で作成しました。 全て白黒で作成しました。
	「目的(緒言、はじめに等)、方法(材料と方法等)、結果、考察及び必要に応じて結論」あるいは「目的(緒言、はじめに等)、研究1・・・、研究2・・・、総合考察」など、各領域の修士研究論文の章構成に応じての順に記載しました。
【和文で執筆した場合】※英文で執筆した場合は【英文で執筆した場合】にチェック(☑)。	
	「和文タイトル」「和文サブタイトル」は『明朝体,18 ポイント』の活字を用い、 原稿の中央に配置(センタリング)しました。
	「氏名(和文)」は、『 ゴシック体 , 14 ポイント』を用い、姓と名の間を半角あけ、センタリングしました。
	「所属学位 P/専攻 (和文)」は、『明朝体, 10 ポイント』を用い、センタリングしました。
	「指導教員名(和文)」は、『明朝体 10 ポイント』を用いて、「指導教員」と「指導教員氏名」の間に半角をあけ、かつ、姓と名の間を半角スペースあけて記し、その全てをセンタリングしました。主指導教員(実質の指導教員)と研究指導教員が異なる場合は、「主指導教員氏名 研究指導教員氏名」の順に全角スペースをあけて記しました。
	「欧文タイトル」「欧文サブタイトル」は」、『Times あるいは Times New Roman, 10point, Bold』を使用し、センタリングしました。最初の一文字のみ大文字、後は固有名詞以外小文字としました。
	「欧文氏名」は、 『Times あるいは Times New Roman,10.5point,Bold』 を使用して、センタリングしました。Given name を先に記し、given name の最初の一文字とFAMILY NAME は大文字としました。
	「欧文抄録」は、約 200 語程度までとし、『Times あるいは Times New Roman, 10point, Bold』を用い、左右に 10 mm インデントを設定し、両端揃えで書きました。
	「本文」は、『明朝体, 10 ポイント』を用い、論文抄録見本の指示に従って二段組みで記載しました。太文字等の修飾文字を用いていません。ただし節タイトルは『ゴシック体, 10 ポイント』とし、【 】ではさみました。
	「図表の説明文」は、和文の場合には、『ゴシック体、9ポイント』を用いました。 図のタイトルは図の下部、表のタイトルは表の上部に記載しました。
	紙媒体でも確認しました。

「英文タイトル」「英文サブタイトル」は『Times あるいは Times New Roman, 18point』 の活字を用い、原稿の中央に配置(センタリング)しました。 「氏名(英文)」は、『Arial, 14 point』を用い、姓と名の間を半角あけ、センタリン グしました。Given name を先に記し、given name の最初の一文字と FAMILY NAME は大文字としました。 「所属学位 P/専攻(英文)」は、『Times あるいは Times New Roman, 10 point』を用 い、センタリングしました。 指導教員名(英文)」は、『Times あるいは Times New Roman, 10 point』を用い、「Academic Supervisor」と「指導教員氏名(英文)」の間に「:」(コロン)と半角スペースを設けて 記し、その全てをセンタリングしました。主指導教員(実質の指導教員)と研究指導教 員が異なる場合は、「Academic Supervisors: 主指導教員氏名(英文) and 研究指導教員 氏名(英文) |の順に記す。Given name を先に記し、Given name の最初の一文字と FAMILY NAME の全てを大文字としました。 「Abstract」は、約200 語程度までとし、『Times あるいは Times New Roman, 10point, **Bold**』を用い、左右に 10 mm インデントを設定し、両端揃えで書きました。 「本文」は、『Times あるいは Times New Roman, 10 point』を用い、論文抄録見本の 指示に従って二段組みで記載しました。太文字等の修飾文字を用いていません。た だし節タイトルは『ゴシック体, 10 ポイント』とし、【 】ではさみました。 「図表の説明文」は、和文の場合には、『Arial, 10 point』を用いました。図のタイト ルは図の下部、表のタイトルは表の上部に記載しました。 紙媒体でも確認しました。 2025年 月 日 上記の通り作成したことを確認しました。 主指導教員(署名)

【英文で執筆されている場合】※和文で執筆した場合は【和文で執筆した場合】にチェック(♥)。